

児童遊園に適した品種の一例



マイヒメ 花期:4月上中旬
樹形:盃状



オカメ 花期:3月下旬
樹形:広卵状



カンザン 花期:4月下旬
樹形:盃状



ギョイコウ 花期:4月下旬
樹形:盃状



コヒガン 花期:3月中旬
樹形:盃状



ソメイヨシノ 花期:4月上旬
樹形:傘状



ジンダイ
アケボノ 花期:4月上旬
樹形:傘状



オオシマ
ザクラ 花期:4月上旬
樹形:傘状

桜の画像提供:公益財団法人日本花の会 ※画像の著作権は公益財団法人日本花の会に帰属します。無断転載を禁止します。

桜守活動について

桜守活動とは、地域の方が日常的に桜を見守り、保全していくボランティア活動のことです。児童遊園の桜を保全していくためには、地域の皆様の参加が大きな力になります。地域の皆様とともに、児童遊園の桜の景観を将来に伝えていきます。

<桜守活動の例>

- ◆ 桜の継続的な観察…開花状況の記録や枯枝、病気等の異常の発見を行う
- ◆ 施肥や水やり……季節ごとに肥料を施す、土壌の乾燥を防ぐ
- ◆ 花芽観察………花芽の数を観察し桜の健康状態を把握する
- ◆ 清掃活動………開花時や落葉時の清掃を行う、落ち葉堆肥を作る など



花芽観察

目黒のサクラ保全事業の流れ

1

樹木診断

樹木医による診断を行い、個々の桜の状態を把握します。倒木の危険のある桜については先行して伐採を行い、安全確保を図ります。

2

サクラ再生実行計画の作成

桜の保護、植替えについて地域の皆様と検討を行い、地域に合ったサクラ再生実行計画を作成します。

3

保全・更新

サクラ再生実行計画に基づき、桜の伐採や抜根、植替えを行います。また、弱っている桜を保護します。

目黒のサクラ基金にご協力をお願いします

目黒のサクラ基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世につたえるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは下記の目黒区公式ウェブサイトをご覧ください。みどり土木政策課までお問い合わせください。

URL:<https://www.city.meguro.tokyo.jp/midori/kusei/yosan/sakurakikin.html>



ふるさと
チョイス



ふるさと
パレット



楽天
ふるさと納税

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課

電話:03-5722-9745 FAX:03-3792-2112

メール:midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp



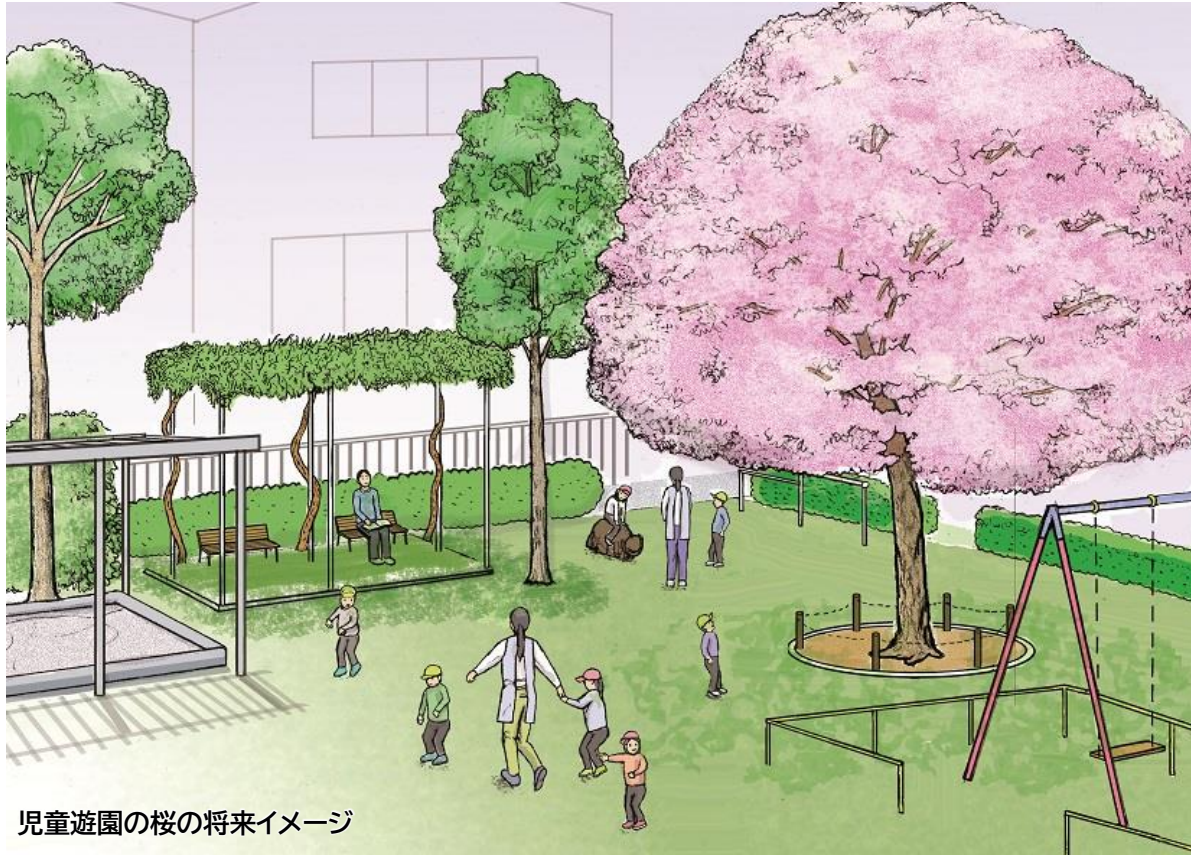
児童遊園 サクラ再生 実行計画

平成30年3月
目黒区



目黒のサクラ
再生実行計画HP

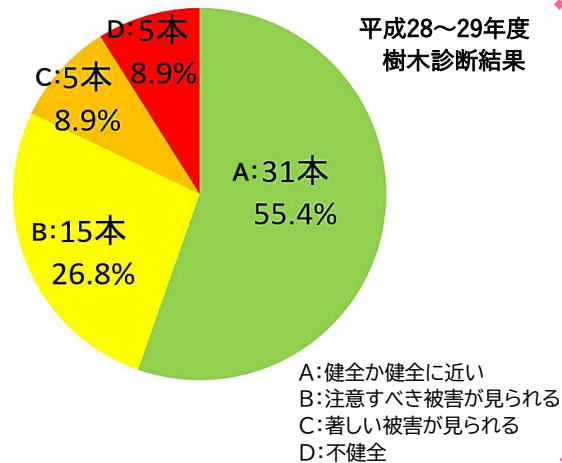
小さな児童遊園でも桜が楽しめるよう、桜の景観を将来に渡って引き継ぎます



児童遊園の桜の将来イメージ

児童遊園の桜の現状

児童遊園の桜は、開園から時間が経過し、桜の老齢化や生育環境の変化などから、衰えが目立つものもあります。そこで、平成28年度から平成29年度に、児童遊園の桜56本について、樹木診断を行いました。全体の約8割は健全か健全に近いと判定され、すぐに植替える必要はありませんが、根や幹が腐朽していたり、生育環境に課題があったりする桜もあるため、計画的な保全が必要となっています。

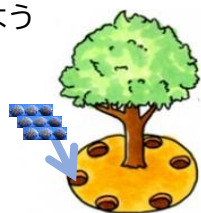


桜の再生に向けて

現在の桜を健全に育てて、できる限り長く残していきます

施肥や土壌改良をします

根の活力不足で弱っている木には、根の周りに穴を掘り空気や水が届くようにするとともに、固形肥料を施して活力を向上させ、根を張る範囲を増やすために土壌改良を行います。

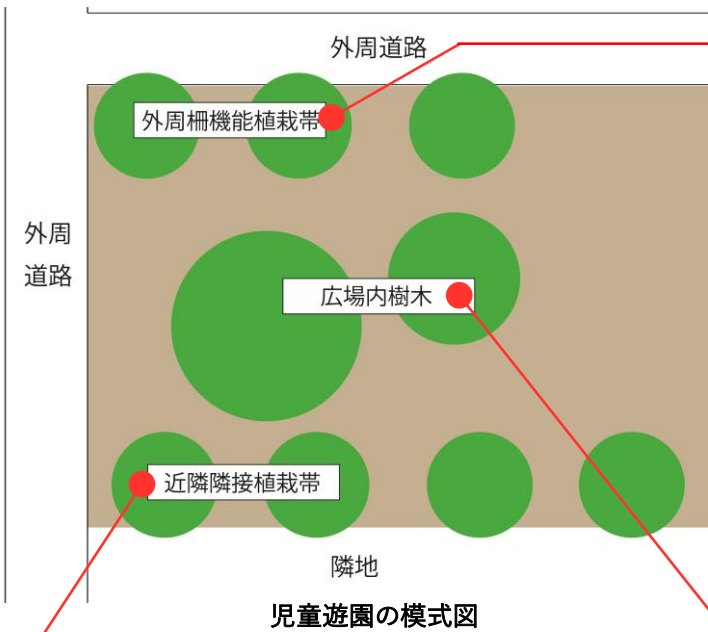


定期的に剪定をします

枝葉を伸ばすことのできる範囲が限られている場合は、成長する桜の樹形をコントロールする必要があるため、定期的に剪定をします。また、枯枝や衰弱した枝は、落下する危険性があるため随時切除します。

立地ごとの将来像とサクラ再生の手法

桜の生育は立地環境の影響を強く受けます。将来像や維持管理の方針は児童遊園内の立地ごとに設定します。



児童遊園の模式図

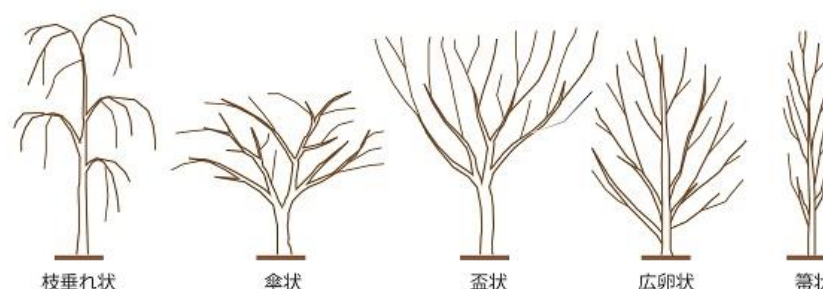
近隣隣接植栽帯

隣地との遮蔽・緩衝帯の役割を担う隣地沿いの桜

隣地へ伸びた太枝が剪定され、樹形が不良な桜があります。隣の樹木との間隔が狭く、日当たりが不足しています。

他の樹木と共存するコンパクトな樹形の桜を目指します

- ・隣の樹木を剪定し日当たりを改善・維持します
- ・近くに衰退した樹木があれば間引く
- ・隣地への越境を見越し、計画的・周期的にこまめに剪定し、児童遊園の内側に枝が伸びる樹形を保ちます
- ・植替えの際には、適切な日照と樹木間隔を確保し、やや小型の「盃状」の品種の桜を選定します(カンザン、ギョイコウ、コヒガンなど)



桜の樹形

外周柵機能植栽帯

児童遊園と道路を区分する外周部の桜

道路の歩行・走行空間へ伸びた太枝が剪定され、樹形が不良な桜があります。

コンパクトな樹形に満開の桜を目指します

- ・道路への越境を見越し、計画的・周期的にこまめに剪定し、良好な景観を確保するよう樹形を保ちます
- ・植替えの際には、適切な日照と樹木間隔を確保し、下枝が少ない「盃状」か、植栽帯が幅広い場所では「広卵状」で、道路沿いの風通しがよく乾燥しやすい環境に耐えられる強健な品種の桜を選定します(マイヒメ、オカメなど)



現状:近隣隣接植栽帯



現状:外周柵機能植栽帯

広場内樹木

児童遊園の景観や緑陰を形成する広場内の桜

利用者の往来により土壌と桜の根が日常的に踏み固められ、肥料分も不足しています。木を腐らすキノコが発生している桜があります。

根が地表へ露出することを予防し、桜に優しく人も歩きやすい環境を整えます

- ・根が地表に露出する前に定期的なエアレーションなどを行い、土壌の通気性を高め、根の再生と地中深くへ根張りを促進します
- ・児童遊園利用と両立可能であれば、根の周りを簡易的な木柵などで囲んだり、植栽柵を拡大したりして根元を保護します
- ・植替えの際には、広場に緑陰を形成できるよう、大型で「傘状」の品種の桜を選定します(ソメイヨシノ、ジンダイアケボノ、オオシマザクラなど)



現状:広場内樹木



キノコのある木の幹(バッコウタケ)